

観光経済常任委員会 視察報告

平成二十四年十月二十二日から二十四日に実施した視察の概要を報告します

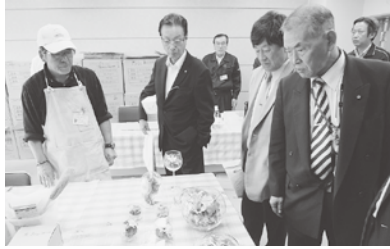
花のまちづくりと観光 《熊本県宇城市》

宇城市は、平成十七年に八代海に面した五町が合併し誕生した、人口約六万二千人の市です。

旧松橋町で平成五年度に、花のまちづくり条例を制定、平成二十年度には日本観光協会主催「花の観光地づくり大賞」を受賞。平成十三年からフラワーフェスタが始まり現在に至っています。

また、戸馳島（とばせじま）には「みすみフラワーアイランド花の学校」があり、年間を通して蘭の花を栽培しています。蘭は、海外生産、バイオ技術等を用いて育苗し、生花販売の他、ポトルフラワー、押し花、寄せ植えなどを制作・販売しています。

島内の花卉生産グループ（十九戸）では年間十四億円を売り上げ、さらに二十三人を雇用しているとのこと。地域の活性化と観光の振興がうまく図られている事例でした。



ポトルフラワーの制作を見学

歴史資源を活かした観光地づくり 《鹿児島県南九州市》

南九州市は、平成十九年に三町が合併して誕生した、人口約四万人の観光と農業のまちです。

知覧地区には特攻平

和会館と武家屋敷群の二つの歴史的遺産があります。

特攻平和会館は、入込数が年平均五十五万人、鹿児島県を訪れる修学旅行生は必ず来館すると言われるほどの学習価値の高い施設です。

また、武家屋敷庭園には年間約二十四万人が訪れています。入園料の徴収、PR事業、生け垣の剪定、病害虫対策等の管理運営は知覧武家屋敷庭園有限責任事業組合が行っており、収支状況も良好で市にも分配金が支払われています。

九州新幹線全線開業効果を見込む一方、二次交通の弱さや宿泊客が少ない通過型観光地であることから、当市との類似点も感じられ、学べべき多くの取り組みがありました。

日曜議会アンケート結果 (概要)

前号でお知らせしたとおり、当市議会で取り組んでいる議会改革の一環として、一般質問の初日を12月9日の日曜日に開催しました。アンケートは9日（日）と10日（月）の2日間実施しました。

- 傍聴者数38人 アンケート回収10件（回収率26.3%）
- 年代は、30代が2人、60代が4人、70代以上が4人
- 傍聴者の職業は、会社員1人、主婦1人、公務員1人、無職7人
- 開催を知った方法は、議会だより6人、広報とわだ10人、新聞1人、ホームページ1人、駒らん情報めーる2人、その他1人 ※複数回答あり
- 初めての傍聴4人、過去にも傍聴したことがある6人
- 今後も継続を望む8人、望まない1人、どちらでもよい1人
- 開催に適する時期は、春2人、夏4人、秋3人、冬4人、その他3人（冬以外、いつでも、農繁期以外）
- 議員の発言や、市の答弁について、理解できた4人、おおむね理解できた2人、あまり理解できない1人、無記入3人

自由記載では、次のような回答がありました。（要約しています）

- ✍ 必要のないことや、歴史の話続ける議員がいるので、時間を有効に使い、質を上げて欲しい。
- ✍ 今後も続けたほうがよいと思うが、休日の開催により、職員の勤務手当等の経費が発生するのであれば、休日開催は望まない。
- ✍ もっとたくさんの議員に一般質問してほしい。